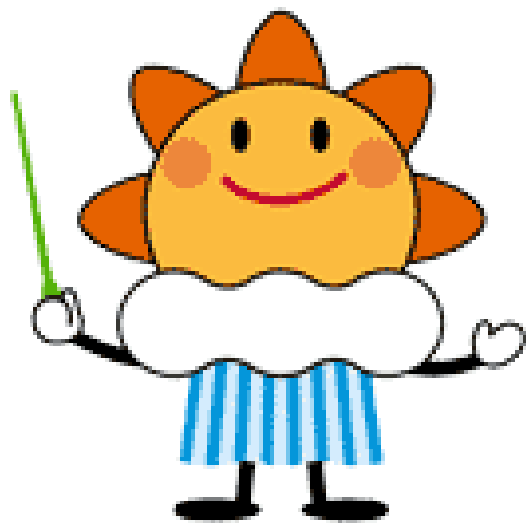


# 防災気象情報の活用

## ～大雨災害から身を守る～

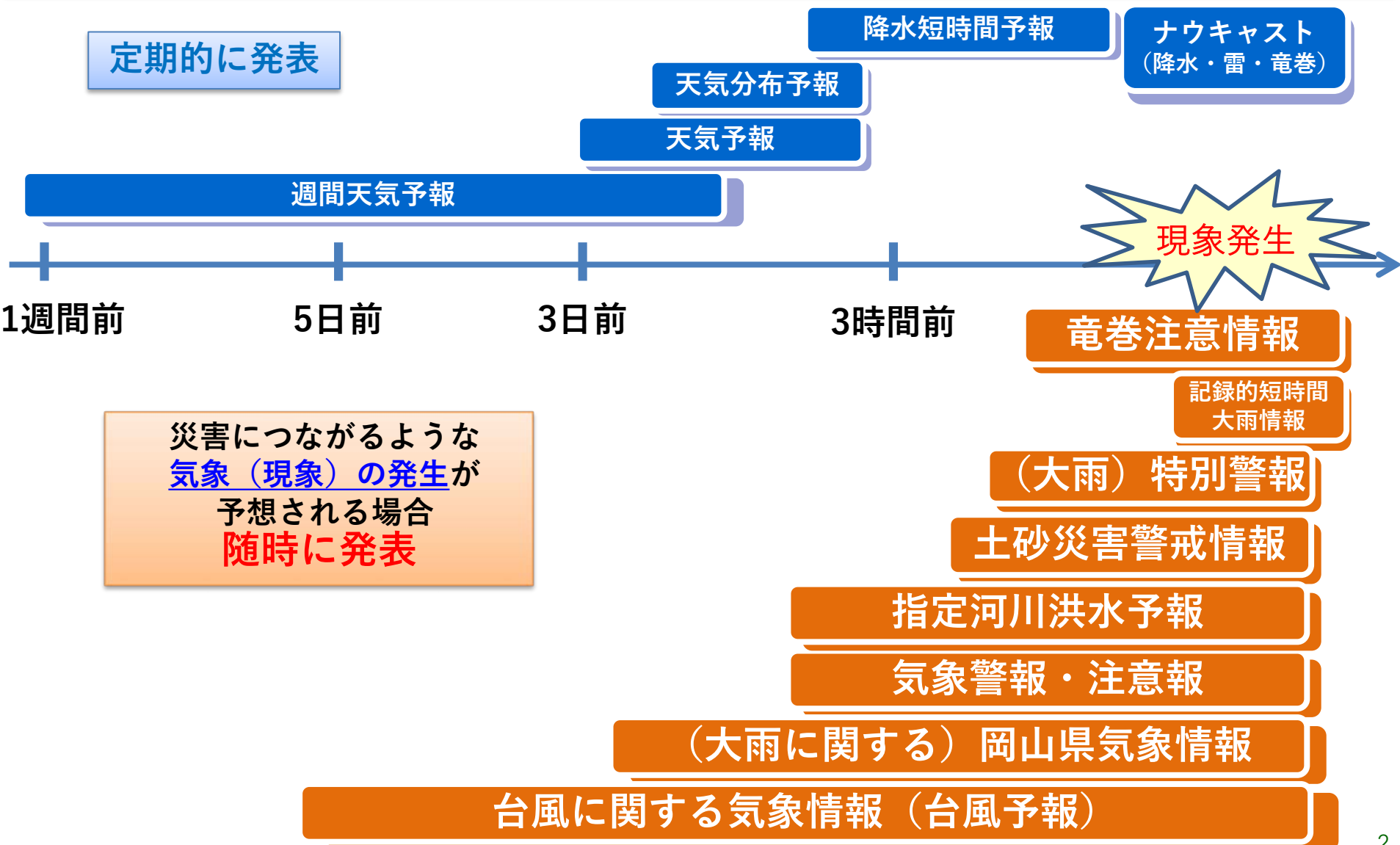


令和2年 1月27日 (月)  
岡山地方気象台

気象庁マスコットキャラクター：はれるん

# 防災気象情報は時間を追って段階的に発表します

- ・防災気象情報は、発生するおそれのある現象のスケールを踏まえ、予測可能性に応じて段階的に発表。
- ・現象の発生まで猶予時間のない情報ほど、できるだけ時間、区域、程度を明記した内容。



**注意報（ちゅういほう）**：災害の起こるおそれがある場合にその旨を注意して行う予報

**警報（けいほう）**：重大な災害の起こるおそれがある場合に警告して行う予報

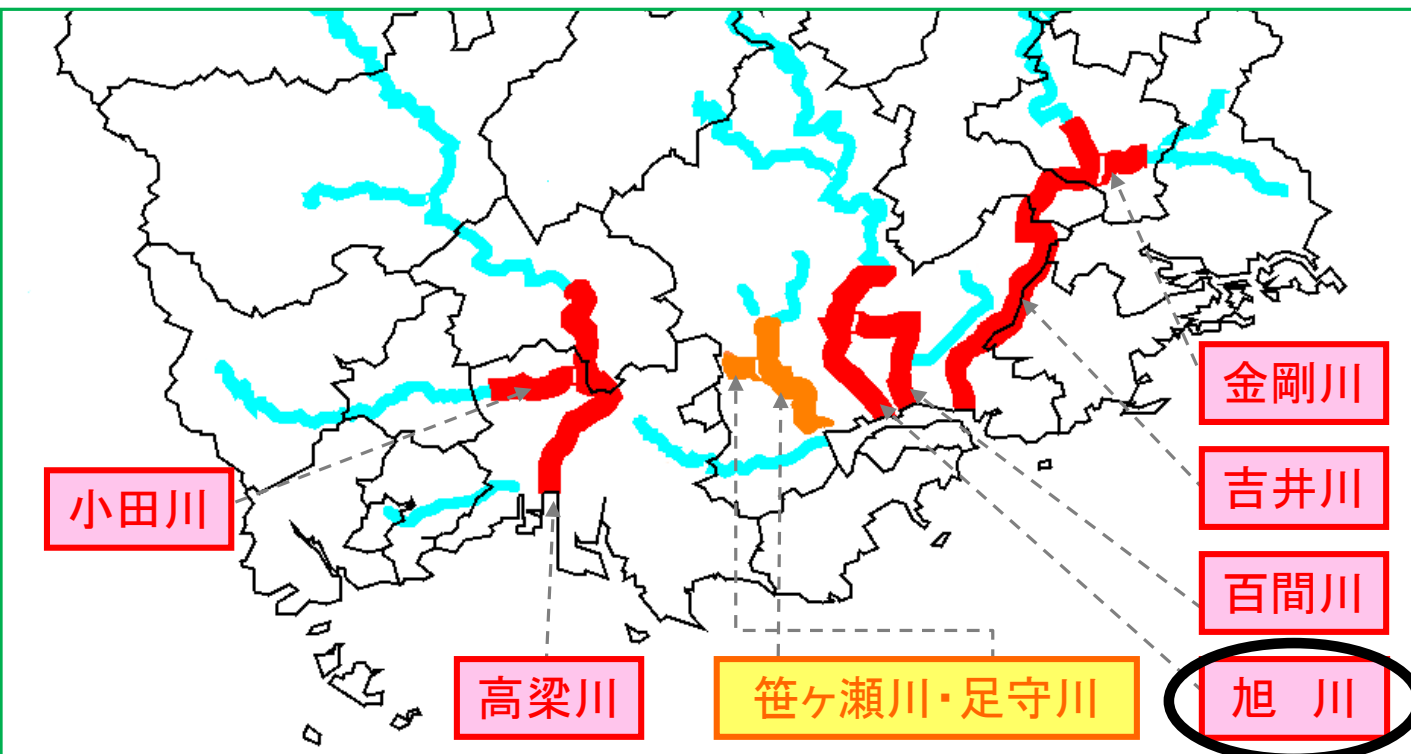
**特別警報（とくべつけいほう）**：重大な災害の発生するおそれが著しく大きい場合に警告して行う予報



まだ「特別警報」が発表  
されていないから大丈夫  
とは思わない。

# 指定河川洪水予報

洪水予報の標題(種類)	発表基準	市町村・住民に求める行動の段階
〇〇川氾濫発生情報 (洪水警報)	氾濫の発生 (氾濫水の予報※)	氾濫水への警戒を求める段階
〇〇川氾濫危険情報 (洪水警報)	氾濫危険水位(レベル4水位)に到達	いつ氾濫してもおかしくない状態 避難等の氾濫発生に対する対応を求める 段階
〇〇川氾濫警戒情報 (洪水警報)	一定時間後に氾濫危険水位(レベル4水位)に到達が見込まれる場合、あるいは避難 判断水位(レベル3水位)に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合	避難準備などの氾濫発生に対する警戒を 求める段階
〇〇川氾濫注意情報 (洪水注意報)	氾濫注意水位(レベル2水位)に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合	氾濫の発生に対する注意を求める段階



河川の増水や氾濫などに対する水防活動の判断や住民の避難行動の参考となるように、気象庁は国土交通省または都道府県の機関と共同して、あらかじめ指定した河川について、区間を決めて水位または流量を示した洪水の予報を行っています。

- 岡山河川事務所と岡山地方気象台が共同で行う洪水予報河川区間
- 備前県民局と岡山地方気象台が共同で行う洪水予報河川区間

# 土砂災害警戒情報

## 岡山県土砂災害警戒情報 第1号

令和元年9月3日 19時20分

岡山県 岡山地方気象台 共同発表

### 【警戒対象地域】

新見市\*

\*印は、新たに警戒対象となった市町村を示します。

### 【警戒文】

<概況>

降り続く大雨のため、土砂災害警戒区域等では命に危険が及ぶ土砂災害がいつ発生してもおかしくない非常に危険な状況です。

<とるべき措置>

避難が必要となる危険な状況となっています【警戒レベル4相当情報〔土砂災害〕】。崖の近くや谷の出口など土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、市町村から発令される避難勧告などの情報に留意し、少しでも安全な場所への速やかな避難を心がけてください。



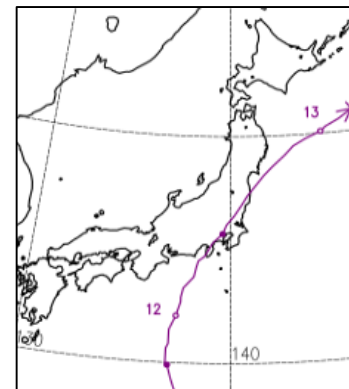
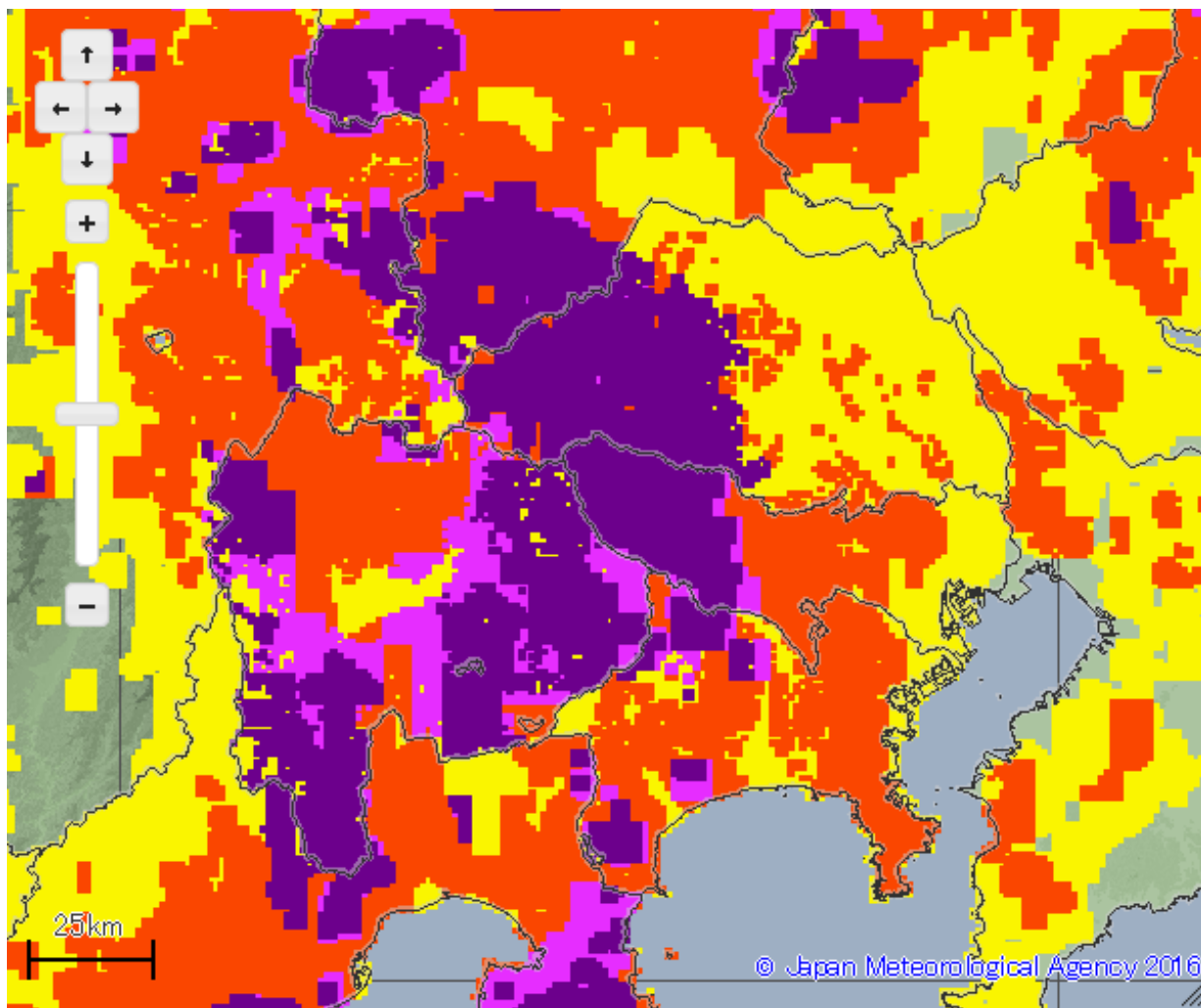
警戒対象地域

問い合わせ先  
086-226-7482 (岡山県土木部防災砂防課)  
086-223-1331 (岡山地方気象台)

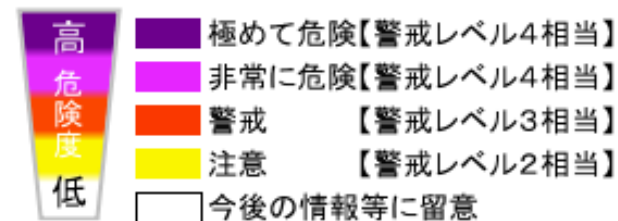
土砂災害警戒情報は、降雨による土砂災害の危険が高まったときに、市町村長が避難勧告等を発令する際の判断や、自主避難の参考となるよう都道府県と気象庁が共同で発表します。

# 大雨警報（土砂災害）の危険度分布 ※台風第19号の例

土砂災害の危険度分布は、土砂災害警戒情報及び大雨警報等を補足する情報です。1km四方の領域ごとに土砂災害発生危険度を5段階に判定した結果を表示しています。避難にかかる時間を考慮して、危険度の判定には2時間先までの土壌雨量指数等の予想を用いています。



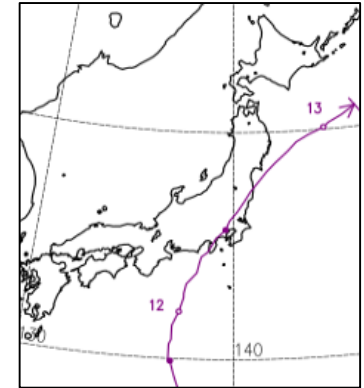
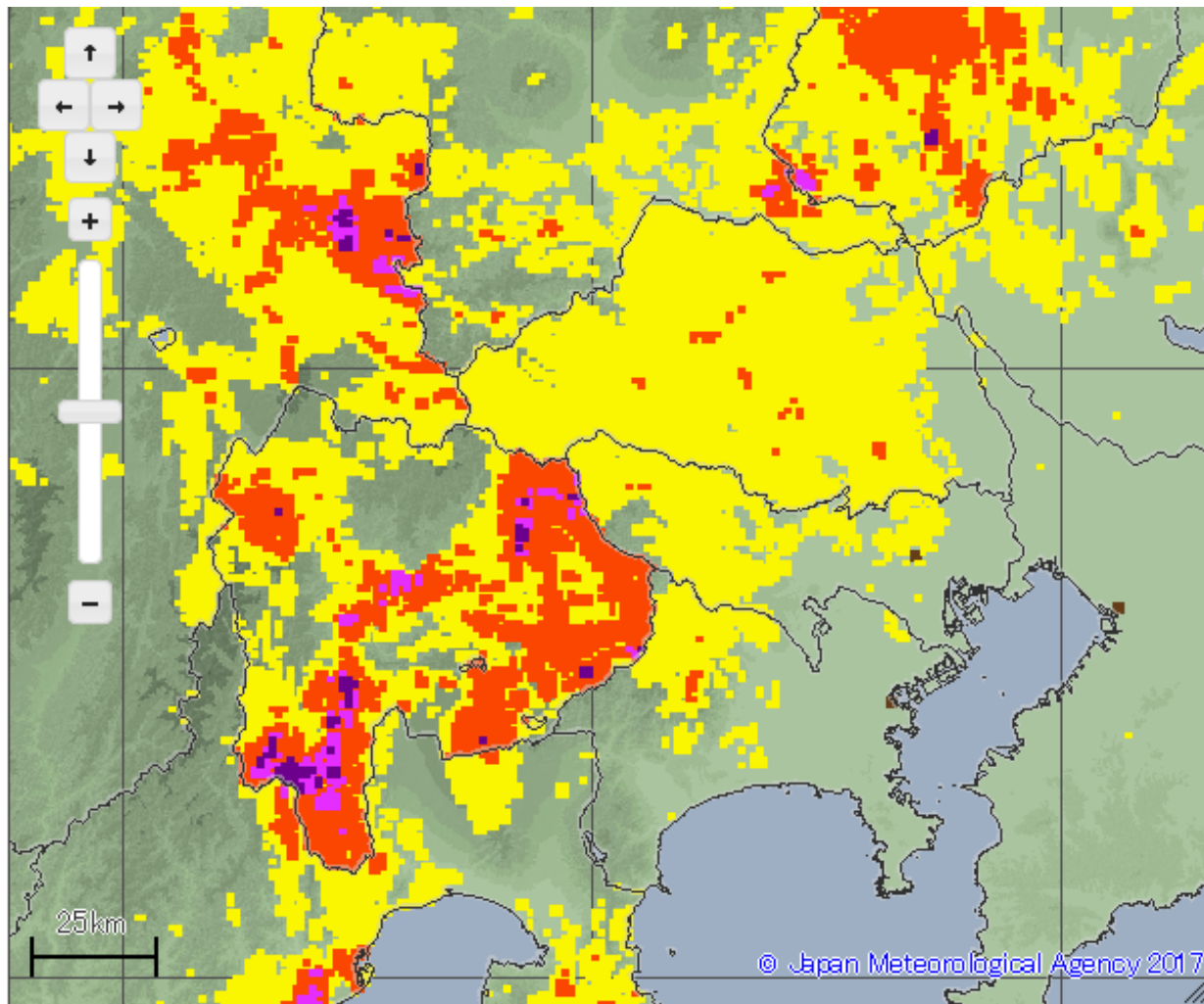
大雨警報(土砂災害)の危険度分布



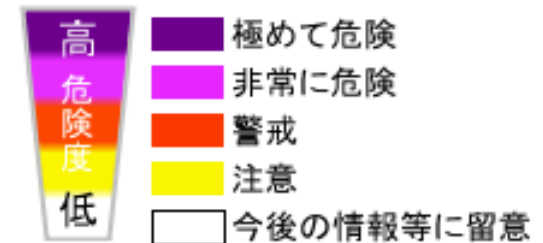
# 大雨警報（浸水害）の危険度分布 ※台風第19号の例

浸水害の危険度分布は、大雨警報（浸水害）を補足する情報です。短時間強雨による浸水害発生の危険度の高まりの予測を示しており、大雨警報（浸水害）等が発表されたときに、どこで危険度が高まるかを面的に確認することができます。

1時間先までの表面雨量指数の予測値が大雨警報（浸水害）等の基準値に到達したかどうかで、危険度を5段階に判定し、色分け表示しています。



大雨警報(浸水害)の危険度分布

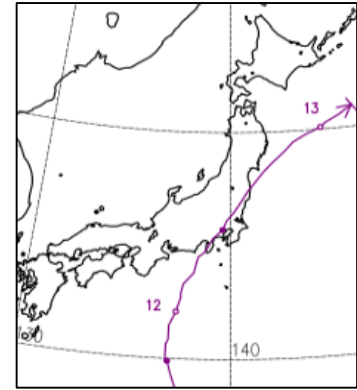
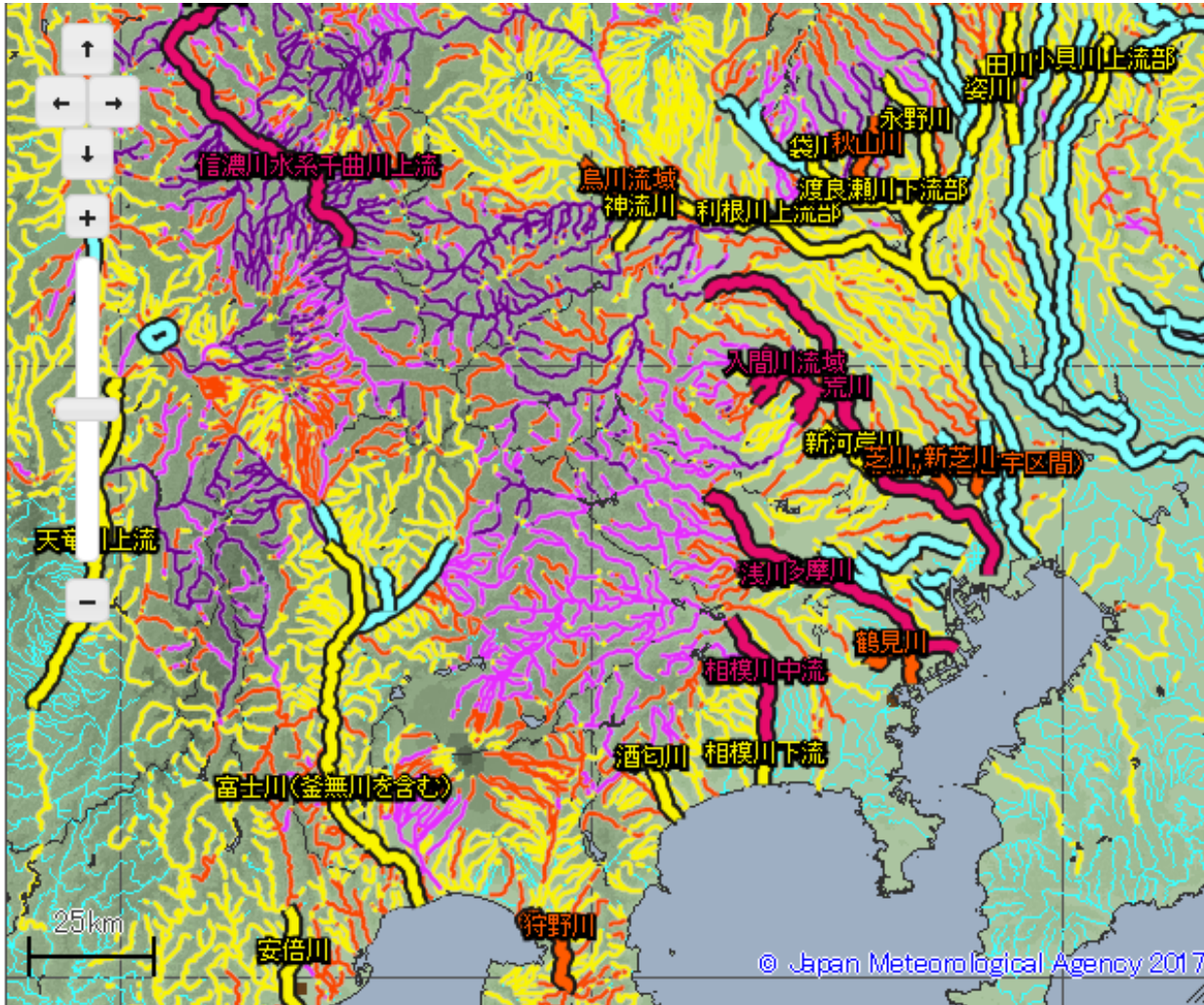


# 大雨警報（洪水害）の危険度分布 ※台風第19号の例

洪水害の危険度分布は、洪水警報を補足する情報です。

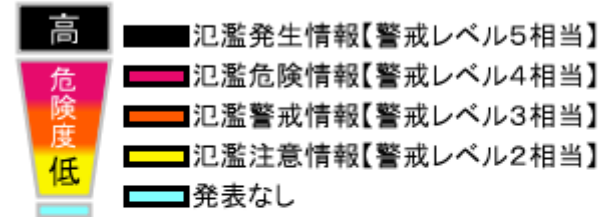
指定河川洪水予報の発表対象ではない中小河川（水位周知河川及びその他河川）の上流域に降った雨による洪水発生危険度の高まりの予測を示しており、洪水警報等が発表されたときに、どこで危険度が高まるかを面的に確認することができます。

3時間先までの流域雨量指数の予測値が洪水警報等の基準値に到達したかどうかで、危険度を5段階に判定し、色分け表示しています。

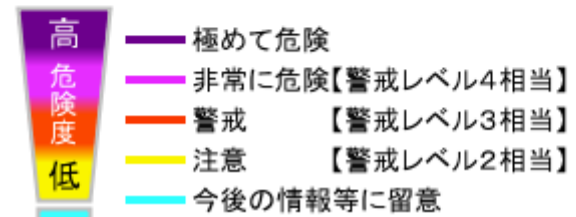


指定河川洪水予報

〔 国や都道府県が管理する河川のうち、流域面積が大きく、洪水により大きな損害を生ずる河川について、洪水のおそれがあると認められるときに発表。 〕



洪水警報の危険度分布





# 1人ひとりが利用できる防災気象情報



ご自分の住んでいる場所がどのようなリスクがあるか確認!!そのリスクに合った防災情報を入手する!!

## 気象庁・気象台HP



気象庁・気象台が発表する情報を掲載しています。

## 都道府県・防災関係機関 市町村・消防本部など



広報車や防災無線などで放送されるほか、都道府県や市町村の中にはメールで送ってくれるサービスをしているところもあります。

## テレビ・ラジオ



テレビ（データ放送（“dボタン”）でも多くの情報が入手可能）やラジオなどで放送されます。

## 民間気象会社など



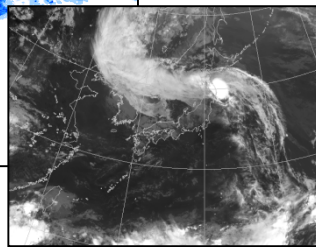
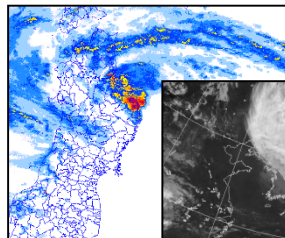
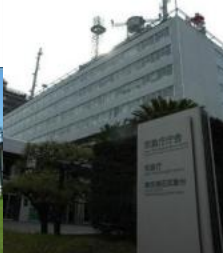
メールで送ってくれるサービスをしているところもあります。



気象庁本庁



地方気象台等



警報・注意報等の防災気象情報発表